

診療科目 ● 脳神経外科学

プログラム責任者：川原 信隆

附属病院	
主任教授	川原 信隆 (脳神経外科部長)
講師	村田 英俊
助教	吉田 俊、末永 潤、高瀬 創
附属市民総合医療センター	
准教授	坂田 勝己
助教	川崎 隆、間中 浩、濱田 幸一、豎月 順也

本プログラムの特徴

脳神経外科後期研修制度は、日本脳神経外科学会が認定したプログラムで4年以上研修を行い専門医受験資格が与えられます。各プログラムには1つの基幹施設があり、その下に研修施設・関連施設があります。4年のうち3年以上は基幹・研修施設での研修が義務づけられています。横浜市立大学脳神経外科の研修プログラムは横浜市立大学附属病院をプログラム基幹病院として、別記のように神奈川県及び東京都に12の研修施設と19の関連施設を有しています。研修施設は症例豊富であり、かつ若手医師の執刀機会が十分確保されるような構成にしております。脳腫瘍、脊髄・脊椎、小児、機能外科、血管内治療などの分野でもそれぞれ専門施設を有していますので、偏りのない研修が可能となっています。更に関連施設では特色のある施設が多数参加しており、国内有数のプログラムであると自負しています。



各施設とも後期研修医にはマンツーマンで上級医がつき、病棟・救急のmanagementや手術の基本を徹底的に指導する体制をとっています。またカンファレンスで、プレゼンテーションの技術、診断・治療方針の考え方などを身につけていきます。学会発表は後期研修医の義務と位置づけ、指導を行っています。また各施設に1台以上、顕微鏡を用意しておりマイクロ吻合練習を義務づけています。



また、夏期には臨床現場と同じ機器を準備して解剖実習、手術研修を実施しております。大学の管理のもとに解剖学教室の全面的協力を頂き、臨床現場と同じ状況下で解剖・手術到達法などの講習とトレーニングを3日間に渡り集中的に行っており、若手には大変好評であります。毎年後期研修医30名以上が参加しており、同僚・先輩・後輩と情報を共有して手術の最先端の技術を習得する好い機会になっています。その他にも後期研修医を対象にした教育行事を行っており、毎年多数のレジデントが参加しています。

カンファレンス (大学)

- i) 定例朝カンファレンス (週3回)
- ii) 手術ビデオカンファレンス (週1回)
- iii) 小児科脳神経外科カンファレンス (週1回)
- iv) 神経内科脳神経外科合同カンファレンス (月1回)
- v) 病理カンファレンス (月1回)
- vi) 大学院生研究カンファレンス (月1回)

教育行事

- i) 後期研修医向けレクチャー (週1回)
- ii) 抄読会 (週1回)
- iii) 夏期頭頸部解剖実習 (8月)
- iv) 福島脳神経外科手術セミナー合宿 (7月)
- v) 症例検討会合宿 (医局旅行 12月)
- vi) 特別講演 (年3~4回)
- vii) マイクロ縫合コンテスト (年2回)

当教室は若い世代の比率が高い(総教職員55名中後期研修医26名)ため、教室全体の雰囲気が非常に明るく活動的です。お互いに刺激し合い好循環を生み出しているようです。また出身大学は多岐にわたり学閥は一切ありません。

目 標

後期研修4年間の間は特に基本となる血管障害、外傷、腫瘍、脊髄、小児を中心に研修します。周術期管理、術中モニタリング、病棟・救急対応は1~2年目で自立して行えることが目標です。手術(侵襲的検査)については若い学年時から積極的に執刀を経験させる方針をとっており以下の内容を上級医の指導のもとでおこなえることを目標にしています。2~3年目から本格的なmicrosurgeryの訓練に入ります。

- 1~2年目: 穿頭術・シャント術・基本開頭術・外傷/脳ヘルニアの解除・気管切開術・診断脳血管撮影・脊髄造影など
 - 2~3年目: 脳出血・テント上脳腫瘍・STA-MCAバイパス・椎弓形成など
 - 3~4年目: 脳動脈瘤クリッピング(難しくないもの)・CEA・頸椎前方固定・テント上髄膜腫など
- ※習熟度に応じ、より難度の高い症例にとりくむ。

目標とする学会認定専門資格

日本脳神経外科学会専門医	日本脊髄外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医	日本脳血管内治療学会専門医
神経内視鏡学会技術認定医	日本てんかん学会専門医

主な協力病院

研修施設(12) 横浜労災病院脳神経外科、横浜南共済病院、神奈川県立足柄上病院脳神経外科、西新井病院脳神経外科、横須賀市立市民病院脳神経外科、汐田総合病院脳神経外科、神奈川県立がんセンター脳神経外科、横浜市立みなと赤十字病院脳神経外科、横浜市立大学附属市民総合医療センター脳神経外科、横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター、平塚共済病院脳神経外科、麻生総合病院脳神経外科

関連施設(19) 埼玉医科大学国際医療センター脳神経外科、東京都立多摩総合医療センター脳神経外科、国立成育医療研究センター脳神経外科、国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科、国立精神神経研究センター脳神経外科、国立病院機構西新潟中央病院、横須賀共済病院脳神経外科、湘南鎌倉総合病院脳神経外科、湘南藤沢徳洲会病院脳神経外科、藤沢市民病院脳神経外科、横浜栄共済病院脳神経外科、横浜新都市脳神経外科病院、神奈川県立こども医療センター脳神経外科、秦野赤十字病院脳神経外科、小田原市立病院脳神経外科、神奈川リハビリテーション病院脳神経外科、七沢リハビリテーション病院脳血管センター、あさひ病院脳神経外科、国際医療福祉大学熱海病院脳神経外科

診療科のホームページ URL

http://www-user.yokoham-cu.ac.jp/~nouge/program.html

担当者・連絡先

医局長 吉田 俊 (MPS 6718)
japantokyosetagaya@yahoo.co.jp

診療科の実績

横浜市立大学附属病院脳神経外科手術件数

	2014年	2013年	2012年		2014年	2013年	2012年
手術総数	321件	250件	299件	脊髄・脊椎	78件	68件	67件
脳腫瘍	116件	101件	107件	水頭症・奇形	36件	28件	23件
脳血管障害	36件	24件	43件	機能外科	4件	5件	7件
外傷	30件	22件	41件				

指導医から一言

後期研修修了後も横浜市大脳神経外科教室員として研修・関連施設をrotateし更に臨床の修練をおこないます。また更なるstep upを目指し、専門分野研修の国内留学も可能です。現在の留学先は以下のようになっています。

- てんかん外科 (国立精神神経医療研究センター・西新潟中央病院)
- 脳血管外科 (埼玉医科大学国際医療センター脳血管外科・東京都多摩総合医療センター)
- 脳腫瘍 (埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科・国立がん研究センター中央病院脳脊髄腫瘍科)
- 小児脳外科 (国立成育医療センター) ○脳血管内治療 (独協医科大学越谷病院)
- 脳腫瘍基礎研究 (国立がん研究センター)

研究を希望される方には大学院進学の間も用意されています。海外留学については当教室は留学経験者が多数在籍し、現在は3名の教室員が留学中(Massachusetts General Hospital, University of Pittsburgh, University of California, San diego)です。海外施設とのconnectionや情報の蓄積はありますので、意欲と努力次第で実現可能です。

当教室からsubspecialityを持った専門医が多く育っています。熱意あふれる若い先生方と一緒に働けることを楽しみにしています。

シニアレジデントからのメッセージ

はじめまして、シニアレジデント2年目の櫛と申します。横浜市大プログラムの大きな特徴は、様々な施設を回っている様々な経験をつめることです。私は1年目に横浜市大センター病院で脳腫瘍や機能外科・血管内治療を、横浜南共済病院で脳卒中全般や水頭症を学びました。現在は大学で、頭蓋底腫瘍、悪性脳腫瘍や脊椎・脊髄を多く経験できています。また同世代の教室員が多いので、楽しく刺激になっています。



中枢神経というまだまだ未知の領域に、外科的だけでなく様々な方面からアプローチできる点が最大の魅力だと考えています。脳外科に興味のある方は是非一度見学にきてください。お待ちしております。(2年目後期研修医 櫛 裕史)

初めまして、シニアレジデント1年目で現在大学に勤務しています。脳神経外科医となつて数ヶ月ですが、非常に充実した日々を送っています。まだまだ、わからないことばかりですが、優しく熱心に指導して下さる先生方のおかげで、日々成長できていると実感しています。また、夜には先輩方と美味しいお酒を交えながら、教科書で学べない貴重な経験が学べます。是非、来年私達と一緒に働きましょう!(1年目後期研修医 飯田 悠)

初めまして、シニアレジデント2年目の川崎です。1年目で研修した横浜労災病院では外傷、脳血管障害を中心に非常に多くの症例を経験し、また多くの症例を執刀させてもらいました。また、スタッフとのコミュニケーションも盛んで、仕事の後も楽しく研修生活を過ごせました。大学では、手術や病棟の他に勉強会・学会・カンファレンスの準備や学生教育など忙しいですが多くの仲間と一緒に仕事ができ楽しく充実しています。初期研修医の皆さんと働ける日を楽しみに待っています。(2年目後期研修医 川崎 貴史)

この度、横浜市立大学医学部脳神経外科学教室に入局させていただきました。笹目丈と申します。横浜栄共済病院で初期研修の2年間を過ごしました。横浜栄共済病院では、医師としてはもとより社会人としての基礎を多くの先生方から教わりました。脳神経外科は7ヶ月も研修をさせて頂き、診断、治療の難しさ、だからこそのやりがいなどを感じることができました。この間に、学術的知識や外科的技術の習得に最適な環境と考え、当教室への入局を決めた次第です。本年4月からは横浜市大センター病院の高度救命救急センターで後期研修をスタートさせて頂きました。内科外科疾患に問わず重症患者が多く、大変刺激的で勉強となる研修ができています。感じます。(1年目後期研修医 笹目 丈)